



大雨の備え できていますか？



6月～10月は出水期と呼ばれ、大雨や台風等による水害が多くなる季節です。特に近年、梅雨の末期には**線状降水帯**が多く発生し、各地で甚大な被害をもたらしています。日ごろから大雨に対する準備をして、いざという時には適切な行動をとれるよう心掛けましょう。

線状降水帯とは…

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することにより、降水帯が細長い線状に連なって見える状況のことで、このエリアではバケツをひっくり返したような激しい雨が降っています。



台風が来そうなときは…

台風が発生!どうしたらいい?

● テレビ・ラジオをつけ情報を入手し、台風の進路・勢力に応じて行動しましょう!



- 3日前**
 - ▶ 台風の進路を確認
 - ▶ 避難する場合の避難先を確保
 - ▶ 備蓄品の確認・準備
- 2日前**
 - ▶ 台風の進路・勢力を確認
 - ▶ 避難先を検討 (自宅に留まるか親類・知人宅等へ避難か)
- 1日前**
 - ▶ 暴風域に入る時間を確認
 - ▶ 断水に備える(水を浴槽・バケツなどに貯める)
 - ▶ 家の周りを点検(物干し竿を下ろす、植木鉢等を屋内に入れる、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼るなど)
- 12時間前**
 - ▶ 気象情報・河川情報・避難情報の収集
 - ▶ 避難先への避難準備
 - ▶ 家の周りや備蓄品の最終点検
- 6時間前**
 - ▶ 暴風や大雨に備え不要不急の外出は控える
 - ▶ 避難先へ避難完了
- 最接近～通過**
 - ▶ 安全な場所で避難
 - ▶ ライフラインの途絶に備える (懐中電灯・携帯電話などをすぐ使えるようにしておく)

台風への備えが大事です

- 災害時避難所以外に、親類・知人宅等の避難先も検討しておきましょう
- 「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」を準備しておきましょう
- 家の周りや屋根瓦などをチェックしておきましょう

- ① 瓦のひび割れ・ずれ・はがれ、トタンのめくれ・はがれを修理しておく
- ② アンテナをしっかりと固定しておく
- ③ ガラスのひび割れ、ゆるみ、がたつきを修理しておく

水害が発生しそうなときは…

河川が氾濫しそうだ!どうしたらいい?

- 河川には絶対近づかない!
- テレビ・ラジオをつけ情報を入手し、河川ごとの警戒レベルに沿って行動しましょう!

- 警戒レベル1** 早期注意情報(気象庁発表)
- 警戒レベル2** 洪水注意報、大雨注意報等(気象庁発表)
- 警戒レベル3** 危険な場所から高齢者等が避難(市が発令)
- 警戒レベル4** 危険な場所から全員避難(市が発令)
- 警戒レベル5** 緊急安全確保(市が可能な範囲で発令)

- 避難先と安全な避難ルートを確認しましょう!
- 避難するときは3階以上の建物へ、履きなれた靴で安全を確認しながら移動しましょう!
- 浸水が始まったら、命を守る行動に全力を傾けましょう!

水害への備えが大事です

- 水害ハザードマップで自宅の浸水程度を把握しておきましょう
- 災害時避難所・避難ルートを確認しておきましょう
- 「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」を準備しておきましょう
- 家の周りや家財を**チェック**しておきましょう



- ① 側溝や排水溝を掃除し、水の流れをスムーズにしておく
- ② 大切な写真や書類等は、床上浸水したときに濡れないように保管しておく

